

# INON

## 安全上のご注意

- ご使用の前に「安全上のご注意」(本書)と別紙「使用説明書」/「浸水事故を起こさない為に」をよくお読みの上、正しく製品をお使い下さい。お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管して下さい。
- この注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止する為に、重要な内容を記載しています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。
- 表示と意味は次の様になっています。



### 危険

この表示に反して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を表しています。



### 警告

この表示に反して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。



### 注意

この表示に反して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を表しています。



### 警告

下記の注意事項を守らないと、死亡または重傷の原因となる可能性が想定されます

## 人（特に乳幼児）の目に向けて点灯させない

**理由**：視力に回復不可能な程の傷害をきたすおそれがあります。

**理由**：一時的な視力障害となり、安全に関わる作業の遂行が困難になるおそれがあります。

## 短時間のテスト点灯(点灯合計時間 5 分以内)を除き、陸上では使用しない 陸上でのテスト点灯時は、必ず耐熱性のある手袋等を使用して、本機器を取り扱う

**理由**：本機器が高温となり、本製品の破損や、やけどのおそれがあります。

**理由**：あまり熱いと感じない温度であっても、低温やけどのおそれがあります。

## 可燃物の近くや、可燃性ガスの雰囲気下で使用しない

**理由**：引火、爆発、火災の原因となります。

## ご使用後はスイッチを切り、消灯させる 使い切った電池は、すぐに本機器から取り出す

**理由**：電池から可燃性ガスが発生することがあり、本機器が破裂する原因となる場合があります。

**理由**：電池の液漏れや発熱などにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となる事があります。

## 消灯する場合、スイッチは止まるまで回し切る（中途半端な位置で止めない） ご使用にならない場合は、本機器から電池を取り出す

**理由**：振動などで予期せず点灯状態となり、火災やけがの原因となる事があります。

**理由**：電池の液漏れや発熱などにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となる事があります。



### 警告

下記の注意事項を守らないと、死亡または重傷の原因となる可能性が想定されます

## 本機器を改造しない。ライトヘッドを分解しない

**理由**：故障による異常動作や破損、浸水などにより、けがの原因となります。

## 内部に水や異物を入れない

**理由**：故障による異常動作や破損、浸水などにより、けがの原因となります。

## 毎回のご使用前に、Oリングの点検、電池や点灯動作の確認を行う

**理由**：浸水や故障による異常動作、電池切れなどによる予期せぬ消灯などによって、事故の原因となります。

## 水中/陸上に係らず、内部に水滴が見える、動作がおかしいなどの異常状態のまま、本機器を使用しない

**理由**：製品内部で可燃性ガスが発生し、着火して製品が破裂し、重大な人身事故を起こす可能性があります。

**理由**：浸水や故障による異常動作などにより、けがの原因となります。

**処置**：本機器の電源を切り、(水中の場合には、浮上スピード/減圧時間などの制限内で出来る限り早く浮上し、水分を十分に取り除いた後、)やけど等に注意しながら速やかに電池を取り外し、ご購入店等に修理を依頼して下さい。

## お手入れの際には、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤や有機溶剤、防錆剤、潤滑剤、艶出し剤、洗剤(特にアルカリ性洗剤)等の油脂/化学薬品を使用しない

**理由**：本機器の破損、或いは、引火、爆発、火災の原因となります。

## お子様の手の届かない所に保管する

**理由**：上述の警告事項に反した行為を行うおそれがあります。

**理由**：電池や付属品を飲み込むおそれがあります。

**処置**：万一電池や付属品を飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談下さい。



## 注意

下記の注意事項を守らないと、**けが**または**物的損害**の原因となる可能性が想定されます

ボートなどの激しい振動や、持ち運び時、落としたりぶつけたりといった大きな衝撃を加えない

**理由**：破損等の故障による異常動作や浸水などにより、火災やけがの原因となる事があります。

**理由**：電池の変形や被覆のやぶれなどで液漏れや発熱が起こり、火災やけがの原因となる事があります。

本機器や水中撮影機材を持ったまま水中に飛び込まない

**理由**：入水時の衝撃によって発生した故障、異常動作や浸水、或いは取り付け位置などの変化が、けがの原因となる事があります。

砂浜や船のデッキ上など、直射日光の当る場所や、車のトランク内やダッシュボード上など、高温となる場所に放置/保管しない

**理由**：故障による異常動作や本機器が変形するなどして浸水が起こり、火災、けがの原因となる事があります。

航空機による運搬や、高地を通過する場合など、本機器を密閉状態のまま、大気圧を下回る可能性がある場所に放置しない

**理由**：本機器は内部圧力より外部圧力が極端に低い状態に対応していないため、防水性が失われて浸水し、けがの原因となる事があります。

**処置**：ライトユニットを緩める、若しくは外して、気密をといて下さい。



## 危険

### 電池についての安全上のご注意

電池の液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲等による**けがややけど、引火、爆発、火災**などを避ける為に、下記の注意事項を必ずお守り下さい

指定以外の電池を使用しない

- 使用可能電池**：
- ・パナソニック 単三形 “eneloop” 充電電池（品番BK-3MCC）【推奨電池】、
  - パナソニック 単三形 “eneloop pro” 充電電池（品番BK-3HCC / BK-3HCD）【推奨電池】、
  - 及び、同等の性能を有する、いわゆる “eneloop” タイプの “新世代” ニッケル水素充電電池
  - ・上記以外の単三型 “旧世代” ニッケル水素充電電池（1.2V）[良質な物]
  - ・単三型アルカリ乾電池（1.5V）[良質な物]
  - ・単三型リチウム電池（1.5V）[良質な物]

液漏れや変色、変形、被覆のやぶれ、その他異常が発生した電池は使用しない

火中への投下、加熱、ショート、分解をしない

水や海水などにつけたり、濡らしたりしない

古い電池と新しい電池、充電した電池と放電した電池、或いは、容量、種類、メーカー、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しない

充電式電池以外は充電しない

充電電池メーカー指定の充電器を用いて充電を行う。この際、充電電池、及び充電器に記されている注意を守る

電池の+/-を逆にして装着/使用しない

その他、電池、及び電池の使用説明書に表示された警告/注意を守る

電池を廃棄する際には、テープなどで端子部を絶縁した後、お住まいの自治体が定める手順に従って、廃棄する

液漏れ等の異常が発生したら・・・

- ・直ちに火気より遠ざけて下さい。発火、破裂の危険があります。
- ・目に入った場合は、こすらずに多量のきれいな水で十分に洗浄してから、医療機関での治療を受けて下さい。
- ・漏れた液が口の中に入った場合には、水で十分に洗浄した後、医療機関に相談して下さい。
- ・漏れた液が皮膚や衣服に付いた場合には、水で十分に洗浄して下さい。

# イノ LE600h-W ライトヘッド\* のご使用方法について

イノ製品をご愛用頂き誠に有難う御座います。

本ユニットは、イノ LE600h-W の“ライトヘッド”ユニット(保守部品)となります。LE600h-W の保守用途としてのご使用はもちろん、イノ LE250/LE330h/LE350/LE350 Type2/LE550-S/LE550-W/LE600h-S/LE700-S/LE700-S Type2/LE700-W を既にお持ちの場合には、本ユニットを各“ライトヘッド”と組み替える事によって、LE600h-W 同等品としてご使用可能となります。

**本ユニット単体で使用する事は出来ません。必ず、対応する LE シリーズ LED ライトの各“ライトヘッド”と組み替える形で使用する必要があります。本紙、及び関連文章をよくお読みになり、正しくご使用下さい。**

本ユニット内訳	：	・ LE600h-W ライトヘッド*	×	1
		・ LE600h-W ライトヘッド* のご使用方法について(本紙)	×	1
		・ LE600h-W Type2 「使用説明書」	×	1
		・ LE600h-S/LE600h-W 「安全上のご注意」	×	1

「LE600h-W “使用説明書”」に記載された付属品(「赤フィルター・LE」/「イノグリス」など)は、本ユニットに付属しません。必要に応じて別途ご用意下さい。

本ユニットが対応する LE シリーズ LED ライト(本ユニットを取り付け可能な“バッテリーボックスユニット”)：

・ イノ LE250	(3xAA バッテリーボックスユニット)
・ イノ LE330h	(3xAA バッテリーボックスユニット)
・ イノ LE350	(3xAA バッテリーボックスユニット)
・ イノ LE350 Type2	(3xAA バッテリーボックスユニット)
・ イノ LE550-S	(3xAA バッテリーボックス II ユニット)
・ イノ LE550-W	(3xAA バッテリーボックス II ユニット)
・ イノ LE600h-S	(3xAA バッテリーボックス III ユニット)
・ イノ LE600h-W	(3xAA バッテリーボックス III ユニット)
・ イノ LE700-S	(3xAA バッテリーボックス II ユニット)
・ イノ LE700-W	(3xAA バッテリーボックス II ユニット)
・ イノ LE700-S Type2	(3xAA バッテリーボックス II ユニット)
・ イノ LE700-W Type2	(3xAA バッテリーボックス II ユニット)

本ユニットは、単三形電池3本を使用する、LE シリーズ LED ライト(LE250、LE330h、LE350、LE350 Type2、LE550-S、LE550-W、LE600h-S、LE600h-W、LE700-S、LE700-S Type2、LE700-W、LE700-W Type2) 専用となります。**LF シリーズ LED ライトや、単三形型電池 2 本を使用する、LE シリーズ LED ライト(LE240)には使用出来ません。**

- ご使用上の注意
- ・ 単体で耐圧性を持たない本ユニットの特性上、“専用のジグ”を用いた耐圧試験を行い、本ユニット単体の耐圧性の確認した状態で出荷を行っています。お手元の LE シリーズ LED ライトの“バッテリーボックスユニット”に組み付けた状態での耐圧試験はもちろん行われておらず、システム全体での耐圧性が確認された状態ではありません。従って、お手元の LE シリーズ LED ライトの各“ライトヘッド”と組み替えて使用する場合には、下記関連文章の記述を守って正しく行う事はもちろん、実際のご使用前に、必要に応じてリキフトを行う事をお勧めします。  
**本組み替え作業により生じた不具合等は免責とさせていただきますので、システム全体での耐圧性確認を行う自信がない場合には、耐圧試験(有償)をご依頼下さい。**
  - ・ 本ユニットへの組み替え前に、**本ユニット付属**の LE600h-S/LE600h-W「安全上のご注意」を参照し、取り扱いに関連した警告/注意の両事項をお守り下さい。
  - ・ 本ユニットへの組み替え作業や、本ユニットへの組み替え後のご使用/メンテナンスなどは、**本ユニット付属**の LE600h-W “使用説明書”、及び**組み替え前の各製品付属**の「**浸水事故を起こさない為に**」を参照して正しく行って下さい。但し、“バッテリーボックスユニット”の“ライトヘッド”側接点のメンテナンスは、**組み替え前の各製品付属**の“使用説明書”を参照して行って下さい。該接点のメンテナンス方法や必要頻度等が、LE550-S/LE550-W/LE700-S/LE700-S Type2/LE700-W/LE700-W Type2 製品に採用されている“3xAA バッテリーボックス II ユニット”、LE600h-S/LE600h-W 製品に採用されている“3xAA バッテリーボックス III ユニット”と、LE250/LE330h/LE350/LE350 Type2 製品に採用されている“3xAA バッテリーボックスユニット”とで異なるからです。
  - ・ 故障、浸水等の原因となりますので、本ユニットを分解しないで下さい。

# INON

## イノ LE600h-W

イノ製品のお買い上げ有難う御座います。

イノ LE600h-W は、高照度パワーLED 採用し、コンパクトながら大光量 600 ルメン、照射角 75° を実現した、色温度約 6500K の防水型 LED ライトです。

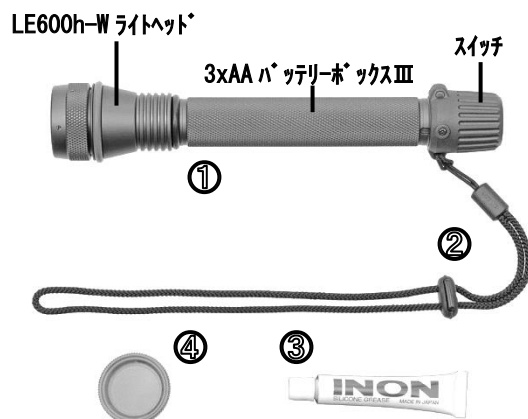
本使用説明書、及び別紙「安全上のご注意」/「浸水事故を起こさない為に」をよくお読みになり、正しくご使用下さい。  
本製品は、短時間のテスト点灯（点灯合計時間 5 分以内）を除き、陸上で使用する事は出来ません。詳細は本使用説明書「ご使用上の注意」をご確認下さい。

### 製品の主な特徴

- 耐久性に優れた耐蝕アルミ合金製ボディと、可動部にダブルOリングを採用。水深 120m までのダイビングライトとしてはもちろん、75° のワイドな照射角と、約 6500K の自然な光色を活かして、本格的な撮影用光源としてもご使用頂けます。
- 色温度は、約 6500K。色温度が低いライト光では、カラーバランスが取り難い、太陽やストロボとのミックス光環境などでも、より簡単に、自然な色味を実現可能です。
- 入手しやすい単三型電池 3 本を電源に採用。“eneloop” / “eneloop pro” 等の対応充電電池を使えば、ランニングコストを低く抑えつつ、約 80 分の連続点灯(※)が可能です。  
※ “eneloop pro” [品番: BK-3HCD] を使用した場合。点灯開始直後の明度が半分になるまでの平均時間
- LED ライトの照射を嫌う水中生物にストレスを与えにくくする「赤フィルター・LE」が付属しています。
- 本製品をスチルカメラ/ビデオカメラに取り付ける為の“ライトホルダー”類(別売品)等、撮影用途向けの豊富なオプションにも対応します。
- ライトヘッドのみ、互換性のある他のライトヘッドに交換可能。使用用途に応じた使い分けにも、柔軟に対応可能です。

### 製品内訳

・ LE600h-W 本体 ①	× 1
LE600h-W ライトヘッド	× 1
3xAA バッテリーボックスⅢ	× 1
〔 3xAA バッテリーボックスⅢ 〕	
スイッチ	
ハンドストラップ ② (①に装着済み)	× 1
・ イングリス ③	× 1
・ 赤フィルター・LE ④	× 1
・ 使用説明書(本書)	× 1
・ 安全上のご注意	× 1
・ 浸水事故を起こさない為に	× 1
・ 各フィルター使用説明書	× 1



### ご使用前の準備

#### 対応する電池を用意する

本製品で使用可能な電池は下記の 4 種類です(\*1)。用途に応じて、同一種類/同一メーカー/同一型番の電池『3 本』を別途ご用意下さい。

- 1) パナソニック 単三形 “eneloop” 充電電池 (品番: BK-3MCC) 【推奨電池】、  
パナソニック 単三形 “eneloop pro” 充電電池 (品番: BK-3HCC / BK-3HCD) 【推奨電池】、  
及び、同等の性能を有する、(いわゆる “eneloop” タイプの) “新世代” ニッケル水素充電電池 (\*2)
- 2) 上記以外の単三型 “旧世代” ニッケル水素充電電池 (1.2V) 【良質な物】 (\*3) (\*4)
- 3) 単三型アルカリ乾電池 (1.5V) 【良質な物】 (\*4)
- 4) 単三型リチウム電池 (1.5V) 【良質な物】 (\*4)

\*1 単三型マンガン電池、単三型亜鉛電池など、対応電池以外を使用する事は出来ません。また、電池を取り扱う際には、別紙「安全上のご注意」を参照し、電池に関連した警告/注意の両事項をお守り下さい。

\*2 “旧世代”、あるいは“高容量” ニッケル水素充電電池と比較して、自己放電量や発熱量の低減などを行なった、(いわゆる “eneloop” タイプの) “新世代” ニッケル水素充電電池を含みます。

\*3 (いわゆる “eneloop” タイプの) “新世代” ニッケル水素充電電池以外の、“旧世代” あるいは “高容量” ニッケル水素充電電池。これらの中には、自己放電量や発熱量が大きく、電池の性能を維持して、実際にご使用を続ける事が困難なものがあります。

上記問題のなるべく少ない、良質なニッケル水素充電電池をご使用下さい。

\*4 連続点灯時間は、お使いの電池の性質や品質に大きく依存します。

液漏れなどの問題を防ぐ為に、大電流での連続放電に対応した、良質な電池をご使用下さい。

**(ご使用前の準備続き) LE600h-W ライトヘッドを取り外す**

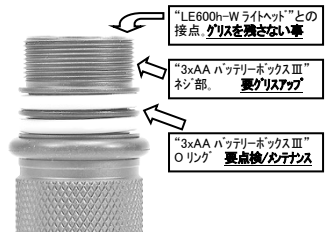
“3xAA バッテリーボックスⅢ” をしっかりと保持した状態で、“スイッチ” を左方向 (反時計方向) に軽く止まるまで回して **電源を OFF にした後、“LE600h-W ライトヘッド” を左方向 (反時計方向) にゆっくりと回して** 取り外します。防水機能維持の為、“スイッチ” の操作、および “LE600h-W ライトヘッド” の着脱を行う際には、ゆっくりと回転させて行い、Oリングがねじれたり、破損したりしない様、ご注意ください。

**Oリング等を点検した後、電池をセットする**

別紙「**浸水事故を起こさない為**」を参照し、防水に重要な O リング等の点検/メンテナンス、および必要に応じてリークテストを行ないます。本書末の「端子/接点のメンテナンス」を参照して各メンテナンスを行なった後、“3xAA バッテリーボックスⅢ” に電池をセットします。全ての電池は、必ず “3xAA バッテリーボックスⅢ” 内のシールに示された方向 [右画像の方向、**プラス**が “LE600h-W ライトヘッド” 側、マイナスが “スイッチ” 側] にセットして下さい。その他、別紙「**安全上のご注意**」を参照し、電池に関連した警告/注意の両事項をお守り下さい。

**LE600h-W ライトヘッドを取り付ける**

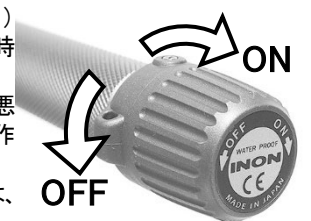
「塩噛み」や「電蝕」によって、“LE600h-W ライトヘッド” と “3xAA バッテリーボックスⅢユニット” が固着する事を防ぐ為、“3xAA バッテリーボックスⅢ” の **ネジ部に、イングリスを少量塗ります**。接触不良の原因となりますので、各電気接点へのグリス付着にご注意下さい。**電源が OFF である事を今一度ご確認後**、“3xAA バッテリーボックスⅢ” をしっかりと保持した状態で **“LE600h-W ライトヘッド” を止まるまでゆっくりとねじ込みます**。防水機能維持の為、“スイッチ” の操作、および “LE600h-W ライトヘッド” の着脱を行う際には、ゆっくりと回転させて行い、Oリングがねじれたり、破損したりしない様、ご注意ください。

**必要に応じて、付属品の取り付けを行う**

使用用途に応じて、「赤フィルター・LE」の取り付けを行います。詳細は、各フィルター付属の使用説明書をご確認下さい。「赤フィルター・LE」は水中使用専用の付属品となります。陸上で使用する事は出来ませんのでご留意下さい。

**ご使用方法****電源の ON/OFF**

“3xAA バッテリーボックスⅢ” をしっかりと保持した状態で “スイッチ” を左方向 (反時計回り) に、軽く止まるまでゆっくり回すと電源 OFF (消灯) となります。反対に、右方向 (時計回り) に軽く止まるまでゆっくり回すと電源 ON (点灯) となります。ON/OFF 時共に、**スイッチは軽く止まるまで回し切して下さい**。中間位置では、接触が悪い場合があり、ライトが予期せず消灯/点灯したり、点滅したりといった、不安定な動作を行う可能性があります。防水機能維持の為、“スイッチ” の操作、および “LE600h-W ライトヘッド” の着脱を行う際には、ゆっくりと回転させて行い、Oリングがねじれたり、破損したりしない様、ご注意ください。

**電池の交換/取り外し**

上述の「ご使用前の準備」を参照し、必ず **本製品が乾燥した状態で** 電池の交換/取り外しを行います。“LE600h-W ライトヘッド” 内部や各端子部に、ごく少量の水が短時間進入しただけでも、ショートや接点腐食の原因となり、使用不能となる可能性があります。充分ご注意ください。**この為、少しでも水分が残留している可能性がある場合の着脱はお勧め出来ませんが、止む終えない場合には、下記手順にて取り外して下さい。**

- 1) “ご使用後のメンテナンス” の項を参照し、真水で洗浄/塩抜き後、エガン等で水滴を吹き飛ばす
- 2) “LE600h-W ライトヘッド” の内部/端子等に水滴が垂れない様、“LE600h-W ライトヘッド” を上に向けて保持する
- 3) 水滴が逆流しない様、“LE600h-W ライトヘッド” を上に向けたままゆっくりと回転させ取り外す

**ご使用後のメンテナンス****塩抜き後、完全に乾燥させる**

ご使用後は、**フィルターを取り外した状態で**、動作温度範囲 [0℃～+30℃] 内の真水に数時間静置して塩分等を取り除きます。この際、“スイッチ” をゆっくりと回転させる事で、隙間に残った塩分等も洗い流す事が出来ます。水中で “LE600h-W ライトヘッド” を回転させない様にご注意下さい。塩抜き後はエガン等で水滴を吹き飛ばし、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、乾燥させて下さい (完全乾燥には数日掛かります)。

**電池を取り外し、ネジ部/Oリング等について、点検/清掃/グリスアップを行う**

**塩抜き作業後、完全に乾燥した状態で**、前述の「ご使用前の準備」の項と逆の手順で電池を取り外します。前項の「ご使用前の準備」に従い、“LE600h-W ライトヘッド” / 電池を取り外した後、別紙「**浸水事故を起こさない為**」を参照し、Oリング、Oリングが嵌る溝、Oリングが接触する面、“LE600h-W ライトヘッド” のネジ部、及び “3xAA バッテリーボックスⅢユニット” のネジ部について、点検、清掃、及びグリスアップを行って下さい。

**保管場所について**

**必ず電池を取り外した状態で**、保管温度範囲 [0℃～+30℃] 内の、直射日光の当たらない、風通しの良い場所で保管して下さい。

樟脳やナフタリン等の薬品雰囲気下や、磁気を発生する器具 (テレビ等) のそば、高湿度下、(保管温度範囲内であっても) 温度変化の激しい場所等での保管は、故障や浸水等の原因となりますのでお止め下さい。

## ご使用上の注意

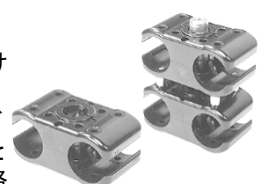
- 故障、浸水等の原因となりますので、“LE600h-W ライトヘッド” を分解しないで下さい。
  - ボートなどの激しい振動や、落としたりぶつけたりといった強い衝撃を加えないで下さい。本製品の破損につながることはもちろん、本製品にセットした電池の変形/破損等の原因となる可能性があります。
  - 故障、浸水等の原因となりますので、“3xAA バッテリーボックスⅢ” と“スイッチ” との間に、砂等の異物が入り込まない様にご注意下さい。
  - 故障、浸水等の原因となりますので、強い直射日光の当たる場所(砂浜や船のデッキ上など)、炎天下の自動車内、使用しているストーブの前など、高温となる場所に放置しないで下さい。
  - 本製品は外部からの圧力(水圧)に耐える様、設計されていますが、極端な内部圧力の上昇(≒外気圧の減少)には耐えられません。高地を通過する運搬や、航空機による運搬を行う際には、必ず“LE600h-W ライトヘッド” を緩める、若しくは外して下さい。
  - 本製品を保持する際は、必ず“3xAA バッテリーボックスⅢ” を持ち、“LE600h-W ライトヘッド” を持つことは避けて下さい。“LE600h-W ライトヘッド” が回転する事で、浸水の原因となる可能性があります。
  - 短時間のテスト点灯を行う場合(※)を除き、本製品を陸上で使用する事は出来ません。 また、短時間であっても、陸上でテスト点灯を行う場合には、必ず耐熱性のある手袋等を装着して下さい。“LE600h-W ライトヘッド” や“3xAA バッテリーボックスⅢ” の表面温度が+50℃以上に達し、本製品が破損したり、やけど/低温やけど等の傷害を受けたりといった可能性があります。
- ※ “LE600h-W ライトヘッド” 側面温度が気温以下の場合に、**点灯合計時間『5 分以内』に限り、テスト点灯可能。**  
既にテスト点灯を行った後で、同部位温度が気温を超えている場合には、テスト点灯を行う事は出来ません。 同部位温度が気温以下となるまで本製品を冷却した後、改めてテスト点灯を行って下さい。なお、本製品の使用/保管温度範囲は、使用/保管環境温度として±0～+30℃です。十分ご留意下さい。
- その他、別紙「**安全上のご注意**」を参照し、取り扱いに関連した警告/注意の両事項をお守り下さい。
  - 本製品消灯時には、“スイッチ” が**左方向(反時計方向)に止まるまで回され、完全に電源 OFF である事を確認して下さい。** また、ご使用時やテスト時以外(持運び時等)には、**電池を取り外して下さい。** 振動等で本製品が予期せず点灯し、故障/火災/思わぬ怪我等の原因となる可能性があります。

## 電池について

- 電池の消耗に従って、電池の電圧が徐々に低下し、本製品の光量も徐々に低下します。本製品では、点灯開始直後の明度が半分となる時間を連続点灯時間として表記しています。
- 電池には、低温になるほど性能が低下する性質、休ませておくことで電圧が回復する性質、使わなくても自己放電する性質があります。また、電池の使用可能時間は、周囲の水温やご使用条件等により大きく異なります。**水中で使用不能とならない為にも、早めの電池交換を行う事、特にナイトダイビングを行う場合等には、上記目安に関わらず電池を交換する事、及び、常に本製品の予備を携行される事をお勧めします。**
- 特に、お手元のニッケル水素充電電池の自己放電量が大きい場合には、充電終了直後より、放置するにつれて性能(光量/連続点灯時間等)が低下する為、充電後 1 日以内に使用する事をお勧めします。
- また、電池製品のパッケージに記載された充放電可能回数以内であっても、充放電回数を重ねる事で、徐々に電池自体の性能が劣化する事にご留意の上、充電(あるいは電池メーカー指定のリフレッシュ作業を行った)直後の充電電池を使用しても、光量が小さい/連続点灯時間が短い場合には、まずは充電電池自体を(同時に使用する 3 本全てを同時に)交換してみる事をお勧めします。
- 本項と合わせて、別紙「**安全上のご注意**」、及び使用する電池(或いは充電電池/充電器)の使用説明書等を十分にご確認頂き、電池に起因する不具合が生じない様、正しくお使い下さい。

## オプションについて

- クイックホルダーセット S-LE  
本製品を含む、イン LE シリーズ LED ライト 1 灯を、“[YS アダプター] 互換アーム” へ、ワンタッチで簡単に着脱可能とするオプション(「クイックホルダー-LE」と「クイックベース S」のセット)です。  
特に、「シュベース」と組み合わせる事で、コンパクト/手軽にカメラシステムへの取り付けが可能となります。
- シングルライトホルダー-LE  
本製品を含む、イン LE シリーズ LED ライト 1 灯を、“[YS アダプター] 互換アーム” へ取り付け可能とするオプションです。  
特に、「シュベース」と組み合わせる事で、コンパクト/手軽にカメラシステムへの取り付けが可能となります。
- ダブルライトホルダー-LE (画像左)
- クアッドライトホルダー-LE (画像右)  
本製品を含む、イン LE シリーズ LED ライトを 2 灯、あるいは 4 灯同時に、対応アームへ取り付け可能とする、水中使用専用のオプションです。  
別売の「Z ジョイント」と組み合わせる事で、「シュベース」や「グリップベース D4」などの、“[YS アダプター] 互換アーム” へ、直接取り付け可能。また、別売の「Z アダプター MV」/「Z アダプター II」と組み合わせる事で、イン “アーム II システム” や “フロントアームシステム” など、イン “アーム II システム” 規格ボールジョイントのボール部を持つ製品に、別売の「クランプ Ⅲ」を使って取り付け可能となります。  
ダブルライトホルダー-LE: イン LE シリーズ LED ライトを 2 灯保持可能  
クアッドライトホルダー-LE: イン LE シリーズ LED ライトを 2 灯、あるいは 4 灯保持可能





## (オプションについて続き)

・ ストロボライトホルダー・LE

本製品を含む、イン LE シリーズ LED ライト 1 灯、あるいは 2 灯を、「S-2000」や「D-200」、「Z-330」等のインストロボと一緒に、対応アームへ取り付け可能とするオプションです。

別売の「Z ジョイント」と組み合わせる事で、「シュベース」などの「YS アダプター」互換アームへ、直接取り付け可能。また、別売の「Z アダプター MV」/「Z アダプター II」/「Z アダプター」と組み合わせる事で、イン「アームシステム」や「フロントアームシステム」など、イン「アーム II システム」規格ホルダージョイントのホルダー部を持つ製品に、別売の「クランプ III」を使って取り付け可能となります。

・ Z ジョイント

「ダブルライトホルダー・LE」/「クアッドライトホルダー・LE」/「ストロボライトホルダー・LE」を、「YS アダプター」互換アームへ取り付け可能とするオプションです。

・ Z アダプター MV

「ダブルライトホルダー・LE」/「クアッドライトホルダー・LE」/「ストロボライトホルダー・LE」を、イン「アームシステム」規格ホルダージョイントのホルダー部を持つ対応製品へ、「クランプ III」を介して取り付け可能とするオプションです。プラスチック製のホルダー部を採用する事で、金属製のホルダー部を採用する「Z アダプター II」の様に「クランプ III」を緩めなくても、適度なフリクションでストロボ/LED ライトなどの方向を調節可能になり、光軸合わせが容易に行えます。

・ Z アダプター II

「ダブルライトホルダー・LE」/「クアッドライトホルダー・LE」/「ストロボライトホルダー・LE」を、イン「アームシステム」規格ホルダージョイントのホルダー部を持つ対応製品へ、「クランプ III」を介して取り付け可能とするオプションです。金属製のホルダー部を採用する事で、プラスチック製のホルダー部を採用する「Z アダプター II」と異なり、「クランプ III」を軽く締めるだけで、ストロボ/LED ライトをしっかりと固定する事が出来ます(光軸を合わせるためには、「クランプ III」を 1 度緩めてから、締め直す必要があります)。

・ バーホルダー

「クイックホルダーセット S-LE」、「シングルライトホルダー・LE」、あるいは「ストロボライトホルダー・LE」+「Z ジョイント」などを介して、本製品を含む、イン LE シリーズ LED ライトなどを、φ22.2～φ31.8 の、棒状の部材に取り付けるための汎用オプションです。

・ 交換用 O リング セット (LE) [保守部品]

含油黄色 O リング の 2 本セットです

ライトヘッド 側/スイッチ側共通。詳細は、別紙「**浸水事故を起こさない為に**」をご参照下さい。

・ インク・リス

製品内訳画像中の③です。

・ 赤フィルター・LE

[保守部品]

製品内訳画像中の④です。

・ カラーフィルター・LE セット

ご使用のカメラや撮影状況、ユーザーの好みなどに合わせ、光の色調を調整する事が可能な、下記フィルター 5 種のセット(水中使用専用)です。

本製品には、ピンクフィルター・LE/オレンジフィルター・LEのみ、使用可能となります。

W50° 赤フィルター・LE、 W50° ピンクフィルター・LE、 W50° オレンジフィルター・LE、  
ピンクフィルター・LE、 オレンジフィルター・LE

・ LE330h ライトヘッド

[保守部品]

水陸両用、照射角 30° で、長い点灯時間と高い汎用性を持つ、330 ルメン、色温度 6500K の、「LE330h」のライトヘッド。用途に応じて、本製品の「LE600h-W ライトヘッド」と、交換してご使用可能です。

・ LE600h-S ライトヘッド

[保守部品]

照射角 30° で、高い汎用性を持つ、大光量 600 ルメン、色温度 6500K の、「LE600h-W」のライトヘッド。用途に応じて、本製品の「LE600h-S ライトヘッド」と、交換してご使用可能です。

**端子/接点のメンテナンス：** 各種充電電池の高容量化、高性能化、長寿命化に伴い、【“LE600h-W ライトヘッド”の端子/接点】、【“3xAA バッテリーボックスⅢユニット”の端子/接点】だけでなく、【充電電池自体の端子】にも汚れが蓄積したり、酸化皮膜が形成されたりし易い状況になっています。これらの状況によっては、各接点で接触不良が起こり、ライトが点滅する等、本製品の動作が不安定になる可能性があります。

特に充電電池の端子については、端子表面の目視による確認だけでは見分ける事が困難な事に加え、購入直後であっても、既に端子表面が酸化しており、上記動作不良を起こしている充電電池の存在を確認している事などから、下記の手順に従い、定期的に各端子/接点の点検/メンテナンスを行う事をお勧め致します。

### ● 充電電池の+/-各端子、及び“LE600h-W ライトヘッド”端子

ご使用の充電電池に記載されている注意書等を十分に確認した後、禁止事項を厳守しつつ、各端子の状況/本製品の動作状況等に応じて下記手順にて行って下さい。

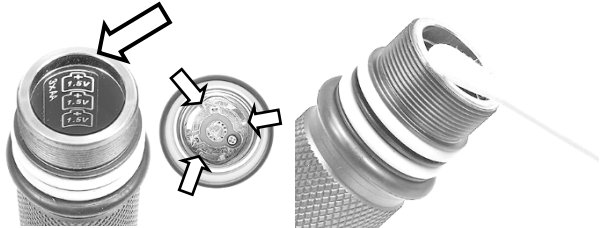
- 1) 乾いた柔らかい布や綺麗な綿棒等で各端子表面を拭き、汚れや油分等を除去する。
- 2) 1) で状況が改善されない場合には、綿棒等に『金属磨き(商品名:「ピカール」等)』を少量付け、各端子表面を磨き、酸化皮膜を除去した後、綺麗な綿棒等で『金属磨き』を完全に除去する。



### ● “LE600h-W ライトヘッド”接点、及び“3xAA バッテリーボックスⅢユニット”接点

“LE600h-W ライトヘッド”接点の状況/本製品の動作状況等に応じて、綺麗な綿棒等で“LE600h-W ライトヘッド”接点表面を拭き、汚れや油分等を除去して下さい。

“3xAA バッテリーボックスⅢユニット”接点には金メッキが施されており、通常はメンテナンスフリーですが、水滴が付着した場合には、右画像の通り綿棒等で汚れを除去して下さい。

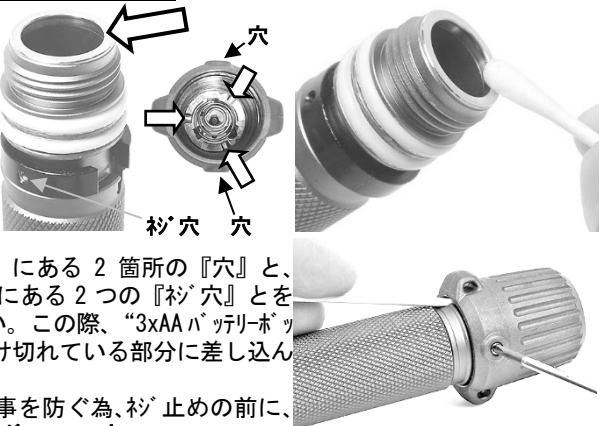


### ● “スイッチ”部接点(必須ではありません)

通常頻度のご使用では問題となる事はありませんが、高頻度でのご使用の際、スイッチ動作でライトがご使用上問題となるほど点滅するなど、“スイッチ”部接点を清掃した方がよい状態となる事があります。この場合には、本製品ご購入店を通して、或いは直接弊社にオーバーホール(有償)をご依頼下さい。

なお、下記要領で“スイッチ”部の分解/再組み立てを正しく行えるユーザー様のみ、ご自身で“スイッチ”部接点をメンテナンス頂けます。この際、**本作業により生じた不具合等は免責とさせていただきますので、ご自身で本作業を行う自信がない場合には、決して本作業を行わず、オーバーホール(有償)をご依頼下さい。**

- 1) “スイッチ”部を固定している 0 番ネジ 2 本を取り外した後、“スイッチ”を左方向(反時計回り)にゆっくり回して取り外します。
  - 2) 上記“LE600h-W ライトヘッド”側接点の場合と同手順で、“3xAA バッテリーボックスⅢ”接点、及び“スイッチ”接点のメンテナンスを行って下さい。なお、“スイッチ”にある「たけこの口」の電池端子については、通常、酸化物等を除去する必要はありません。
  - 3) 必要に応じて 0 リング等のメンテナンスを行った後、1) と逆の手順で“スイッチ”を取り付けます。この際、“スイッチ”にある 2 箇所の『穴』と、“3xAA バッテリーボックスⅢ”に嵌っている「ストップ」にある 2 つの『ネジ穴』とを合わせてから、0 番ネジ 2 本でネジ止めを行って下さい。この際、“3xAA バッテリーボックスⅢ”にある溝から、竹串等を「ストップ」の一箇所だけ切れている部分に差し込んで押えると、楽に行えます。
- 「塩害」や「電蝕」によって、0 番ネジ 2 本が固着する事を防ぐ為、ネジ止めの前に、「ストップ」にある 2 つの『ネジ穴』に、**イングリスを少量塗って下さい。**



### イン 防水型 LED ライト LE600h-W 主要性能 (\*1)

搭載 LED	高照度パワー LED (CREE 社 XM-L2 T4)
光束(*2)(*3)	600 ルーメン
照射角度	75° [フィルター未装着時、赤フィルター LE 装着時]
色温度 (*3)	約 6,500K
連続点灯時間 (*4)(*5)	約 60 分 ["eneloop" 電池 使用時] 約 80 分 ["eneloop pro" 電池 使用時]
LED 寿命	約 10,000 時間

対応電池	単三型“eneloop” / “eneloop pro”電池 x3 本 (*6) 単三型ニッケル水素電池[良質な物] x3 本 (*7)(*8) 単三型アルカリ電池[良質な物] x3 本 (*8) 単三型リチウム電池(1.5V)[良質な物] x3 本 (*8)
実用耐水深	120m (*9)
大きさ、重量(*10)	最大径φ33.7mm×193.6mm、217.5g(陸上) / 約 131g(水中)
材質/処理	耐蝕アルミ合金/硬質アルマイト、PBT、光学ガラス等
使用/保管温度	±0℃～+30℃
付属品	赤フィルター・LE、ハンドストラップ、イングリス

\*1) 性能、価格等、予告なしに変更する場合があります。予めご了承下さい。

\*2) 発光素子メーカーのスペックシートより算出、公称値。

\*3) LED 素子や LED 駆動回路、電池等の個体差により、同一製品であっても、製品仕様の範囲内で光束や色温度、照度等が異なる場合があります。ご了承下さい。

\*4) 約 25℃ の水中で、下記電池を用いて連続点灯させ、明度が発光開始直後の半分になるまでの平均時間。

- “eneloop” 電池: Panasonic “eneloop”, BK-3MCC, 1.2V, Min. 1,900mAh
- “eneloop pro” 電池: Panasonic “eneloop pro”, BK-3HCC, 1.2V, Min. 2,500mAh
- アルカリ電池: Panasonic “EVOLTA NEO” LR6 (NJ), 1.5V
- リチウム電池 (1.5V): Energizer ULTIMATE LITHIUM, L91 FR6, 1.5V

\*5) 連続点灯時間は、弊社テスト品での実測値(参考値)です。製品の個体差や電池メーカー/種類の違い、測定条件等により差が出る場合がありますので、ご留意下さい。

\*6) “旧世代”あるいは“高容量”ニッケル水素充電電池と比較して、自己放電量が少ない/充放電時の発熱が少ない“新世代”ニッケル水素であり、使用推奨充電電池『パナニック“eneloop” / “eneloop pro” 充電電池 (品番: BK-3MCC、BK-3HCC、BK-3HCD)』と同様に使用頂ける事を、弊社で検証済みのニッケル水素充電電池を含みます。検証済み充電電池名称/品番は右記の通りです。

- パナニック株式会社
- パナニック株式会社
- 三洋電機株式会社

名称: “eneloop” / 品番: BK-3MCC 【推奨電池】  
名称: “eneloop pro” / 品番: BK-3HCC、BK-3HCD 【推奨電池】  
名称: “eneloop” / 品番: HR-3UTG、HR-3UTGA、HR-3UTGB 【推奨電池】

- 三洋電機株式会社
- ソーニ株式会社
- パナニック株式会社
- Maha Energy Corporation
- GP Batteries International Ltd.
- ANSMANN AG
- Electrochem Automation Inc.

名称: “eneloop pro” / 品番: HR-3UWX 【推奨電池】  
名称: サイクルエッジ / 品番: NH-AA-2BKA、NH-AA-4BKA  
名称: 充電式ニッケル水素電池 単 3 形 / 品番: HHR-3MPS  
名称: IMEDION / 品番: MHRAA14  
名称: ReCyko+ / 品番: 210AAHCBE  
名称: maxE / 品番: 5030991、5030992、5035052  
名称: NECxcell energyON / 品番: なし (AA 2000mAh)

\*7) (いわゆる“eneloop タイプ”の) “新世代”ニッケル水素充電電池以外の、“旧世代”あるいは“高容量”ニッケル水素充電電池。これらの中には、自己放電量や発熱が大きく、電池の性能を維持して、実際にご使用を続ける事が困難な場合があります。上記問題のなるべく少ない、良質なニッケル水素充電電池をご使用下さい。

\*8) 連続点灯時間は、お使いの電池の性質に大きく依存します。液漏れなどの問題を防ぐ為にも、大電流での連続放電に対応した、良質な電池をご使用下さい。

\*9) “スイッチ”非操作時、スイッチの操作を含む使用試験では、水深 84m までの動作を確認しています。

株式会社 イン 〒247-0061 神奈川県鎌倉市 2-18-9

Tel. 0467-48-2174 Fax. 0467-48-2178